



次世代への伝承

新得町長 浜田 正 利

新得町郷土研究会が創立四十周年という記念すべき年を迎えられ、ここに記念誌「郷土第七号」が発刊されますことには、誠に意義深く、心からお慶び申し上げます。郷土研究会の皆様には長きにわたり、史跡等の調査や郷土資料の収集保存、史跡銘板や標柱の設置などを続けてこられたご努力に、深く敬意を表する次第であります。

新得町は、令和元年をもって開拓一二〇周年を迎えましたが、これもひとえに、先人の方々のためまぬ開拓精神と努力が、今日の新得町を築き上げてくれたことを強く感じ、改めて、先人の方々が積み重ねてくれた本町の歴史を後世に伝えていくことは、現在を生きる私たちの責務と感じております。

昨年八月より町長職五期目を務めさせてもらっております。今期は「つなぐ」を一番のテーマとし、まちづくりを担う全ての世代から次世代につなぐための人づくりに力を入れてまいります。

「つなぐ」には、歴史を未来につなぐ（伝承）の意味合いもあります。

本町の歴史を町民の皆様が共有することで、人と人のつながりや、心のつながりが深まり、これからの町づくりにつながつていくと考えております。

ぜひ、郷土研究会の皆様には、今後も「新得町」の歴史の伝承者として、引き続き様々な場面でご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、この度の節目を機に新得町郷土研究会が、今後ますますのご発展を遂げられますこと、並びに会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。発刊のお祝いの言葉とさせていただきます。